

『時事直言』 No.1663 2024年4月26日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

超円安を止めるどころか加熱させる日銀

今日 26 日市場が注目した日銀金融政策決定会合が終わり、植田総裁の記者会見があった。

決まったことは、金利は 0.0%から 0.1%のまま据え置き、追加利上げについては言及なし、国債購入額は月間約 6 兆円変わらず、そのうえ悪名高き指値買いオペ(一定の利回りを指定して無制限に市場から国債を買い入れる)を継続。

これでは市場に円を売ってくれと頼んでいるのと同じこと。

日銀の政策は円安政策である。

鈴木財務相に至っては、「円安の良い所もある」などと言う。

政府と財界からの批判をかわす為政府・日銀は今会合後に介入するかもしれないが、マイナス金利排除を利上げ政策だなどと言い、追加利上げに触れもしないのだから、日銀の金融政策は日本の為ではなくアメリカの為であることが証明されたようなものである。

日銀の政策がアメリカの為で日本の為でないのだから日銀金融政策決定会合後、ドルが買われ円が売られるのは当然である。

政府・日銀は、超円安を放置し促進させたと政府、財界から非難されるのを避ける為今夜か明日にもドル売り、円買い介入するだろう。

介入で円は 2-3 円上げた後、急落し 165 円に向かうだろう。

日銀のゼロ金利、超円安政策とは、日本から投資資金をアメリカへ向かわせる政策である。

アメリカは年内利下げが出来ない状況なので、5.25-5.50%という高い政策金利を続行しなければならぬ為、アメリカ経済は必ずリセッションへ向かう。

今後日本からアメリカへ毎月数十兆円単位のキャピタルフライトが続けばアメリカのリセッションのリスクは軽減する。

結果から言えば日銀は超円安で内需依存国日本の経済と消費者国民を犠牲にしてアメリカ経済に貢献しているのである。

だから私は「日銀は FRB の日本支社」と言っているのである。

仕方がないので円安メリット株を買って、FRB が年末か来年利下げを決定するまでの間大いに儲けさせてもらうことにする。

「目からウロコのインターネット増田塾」の毎朝場が開く前の「本日の株式指南」でみんなと一緒に儲けましょう。

先行受付中！増田俊男の小冊子 Vol.140

『乗るか反るかの日本経済』～ニッケイ平均 5 万円まで急騰か、それとも 3 万円に急落か？～

現在増田俊男の小冊子 Vol. 140 は先行受付中です。

内容は、*FRB (連邦準備理事会) は毎日薄氷を踏む思い *アメリカの金融・財政政策が限界に達してきた *中国経済は何処までごまかし続けられるか *Scrap & build の突破口 (戦争・復興需要) を競う欧米 *「漁夫の利」を享受出来るかどうか瀬戸際の日本 *ニッケイ 5 万円か 3 万円か? 等です。価格は、1 冊 4,800 円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについては Masuda U.S. リサーチ ジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前に Masuda U.S. リサーチ ジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。